下肢静脈瘤専門診療から全身管理の医療機関へ。

下肢静脈瘤、あまり聞き慣れない病名です。症状改善のために血液逆流を阻止することが重要です。しかし医療技術の進歩は目覚しい現代においては手術と言っても日帰りで非常に簡単に済ますことが可能です。中でも本年から保険適用となったヴェナシール」と呼ばれる接着剤を用いた「下肢静脈瘤塞栓術」はその最広い選択肢の中から、患者様に合った下肢静脈瘤診療を提供させて頂くことにより患者様とっては治療がより受けやすくなっています。

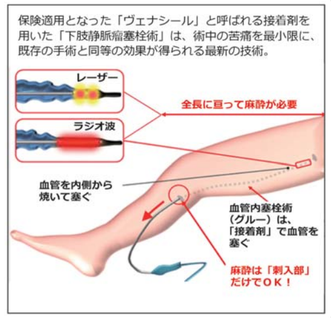
循環器診療・成人病対策

循環器疾患は主要な死因のひとつで、単に死亡を引き起こすのみでなく急性期治療や後遺症治療のため、個人的にも社会的にも負担が増えています。循環器疾患は生活習慣が深く関与していることが明らかになっています。そのため危険因子をもつ方々や発症予防対策が重要になります。下肢静脈瘤や深部静脈血栓症も循環器疾患の一部と言えますが、当院では六月から新たに心エコー、胸腹部レントゲン撮影、24時間ホルター心電図や院内迅速血液検査などの検査設備を充実させ、循環器疾患全般を内科的に管理・治療します。

また、循環器診療・下肢静脈瘤診療とともに、成人病対策として「特定健診」、「禁煙外来」、「睡眠時無呼吸症候群診療（簡易検査と在宅CPAP管理）」を行っています。

下肢静脈瘤と言う疾患そのものは他臓器への影響が少ないとされています。しかし、下肢静脈瘤のある患者様が他の疾患を併発されていることが多いのも事実です。特に現代の高齢化社会において「単一疾患のみの診療」よりむしろ「それを中心に行う全身管理」が重要であると言えます。

保険適用となったヴェナシール



千葉静脈瘤・循環器クリニック
https://chiba-varix.com
～診療時間～
外来■10:00～12:00 ／ 16:30～19:00
手術■13:00～16:00 ※診療は予約優先になります。
休診日／金曜日・土曜日・祝日・振替休日
●当院の下肢静脈瘤手術は健康保険がご使用いただけます。
●来院の際は健康保険証をご持参ください。
●入院不要・日帰りでの治療が可能です。
問合せ 043-239-5831
千葉市中央区新千葉 1-4-2 ウェストリオ 2-701（千葉駅徒歩 1 分）

心臓血管外科経験による緻密な技術

「千葉静脈瘤クリニック」は令和２年６月「千葉静脈瘤・循環器クリニック」に生まれ変わります。

短編小説「モノレールストーリー」　袁晟　庸子

空のむこうに

明男は大学四年生、その日は学校帰りに数人の仲間と千葉の街へ出てきた。

お茶を飲んだ後、中央公園へ行った。空は晴れ上がり夏の香りをふくんだ風もさわやか。

女の同級生順子が、空のかなたを走って行くモノレールを見て「ああ、いいなあ、私モノレール大好き。日本てスゴイなあ、あんな素晴らしいものを作るんだもの」と言った。彼女は順子という名だが韓国人だ。

順子と書いては発音が違うのだが、皆順子ちゃんと呼んでいる。小柄で目がクルクルッと丸い可愛い娘だった。

明男は彼女に「モノレール乗った事ある？」と聞いた。「私乗った事一度もないのよ、乗ってみたいと思ってるんだけど」と順子が言った。「じゃ、僕が連れて行ってあげる。今度の日曜日の午後行こう」「嬉しい、きっとね」と彼女が明男の目の前に小指を差し出した。「じゃ、げんまん」明男も小指をからめた。明男の家は成田の奥にある農家だった。

明男は嫁に行った姉がいる長男だ。大学へ行きたいと言った時、父ちゃんが「お前は農業やるんだから、大学へ行かんでもいい」とうるさく言った。

結局お金のかからない国立大学へなら行かしてくれる事になった。明男は頑張って合格できた。すると父ちゃんは満更でもないらしく「俺の息子が国立大学に入れるなんて不思議な話だ」なんてうれしそうに話している。

順子は韓国の済州島から留学生として日本に来ている。

日本語が上手だし明るい性格なので皆から好かれている。

約束の日曰二人はモノレールに乗った。順子は「スゴイスゴイ」と千葉の街々を見下ろして大喜びだった。それから二人は急速に仲良くなっていった。

明男にとっては初めてのガールフレンドだった。順子は「私の両親は勤め人だけど、私農業大好きなの。土をいじるってステキだわ」と言った。

「俺ん家で良かったらいつでも」明男はさっそく自分の家へ連れていった。

父ちゃんも母ちゃんもいきなり女の子を連れて来たのでビックリ、でも母ちゃんはいそ田舎料理を作りだして「晩飯ゆっくり食べて行って下さいね」とすすめる。

「畑を見たい」と順子が言ったので、父ちゃんは相好を崩して案内する。明男も行くのだが、順子は人参やキャベツの作り方等ろくわしく質問する。父ちゃんは上機嫌でふだんよりずっとしゃべった。

晩御飯はこぢんまりとした。母ちゃんの料理を順子が「おいしい、おいしい」とほめるので、母ちゃんも大喜び。順子が帰ったあとも「いい娘さんだねえ」とほめちぎっていた。

明男と順子は急速に仲が良くなっていった。愛犬だけが心配だった。明男が「私の国へ是非明男を招待したい。済州島はきれいな所よ」と誘った。

「ぜひ行きたいな」と順子の生まれた国行きたい二人はその十日後済州島へ向かった。

順子の両親は温かくも明男を迎えてくれる。二人は結婚した。二人は聞いた瞬間は喜んだが、順子が韓国人だと知ると二人は驚いた反対した。

「だめだ日本人じゃないか、この家を継がせるわけにはいかない。明男この話はあきらめろ」と言った。

母ちゃんも「いい娘だけどこれだけはねえ」と言ってせつなさそうに言った。明男は熱心に毎日両親に頼み込んだ。

そしてOKが出た。卒業後、二人は結婚した。結婚式は成田山新勝寺で白無垢姿の順子に父ちゃんも母ちゃんも目を細めていた。披露宴は成田のホテル、ウエルコ。社長が済州島出身者だ。料金以上に料理も会場も盛大にしてくれたので披露宴は盛り上がった。

父ちゃん、母ちゃん、親戚も盛り上がった。順子の両親は来ていないが、一週間後、向こうで披露宴はする予定になっている。全部が落ち着いたら二人でモノレールに乗りたいと明男は思うのだった。

随筆

どっちがバカかしら？

吉成　庸子

五月の連休が終わったら急に夏めいて来た。

でも、コロナウイルスのおかげで世の中は暗い。心も弾まない。でも、コロナって来ては植えたものだ。私は咲いた花を眺めるのは大好きだけど、どうも土いじりは苦手。「何の役にも立たない女というのはお母さんみたいな人の切な心の花だったのかもしれない。多分無理して買ったのだろう。

一番早く咲く川奈櫻、吉野櫻、しだれ櫻、八重櫻と四本の櫻がある。初めは細い小さな木だったが、現在ではかなり大きな木になっている。儀ちゃんは生きている頃、肥料をやったり、虫よけをかけたり実にこまめに面倒を見ていた。そして、休日は庭の手入れが終わると、たいてい夕方一風呂浴びてから縁側に腰かけビールを一杯やりながら「実にきれいだ。心が洗われるなあ」と言っていた。櫻だけじゃない。ほたんもつつじも水仙もその他のサルビアや矢車草等みんな儀ちゃんが丹精込めて咲いていた。

儀ちゃんは櫻の花が大好きだった。予科練から特攻隊員として若き日を過ごした彼にとって櫻は大切な心の花だったのかもしれない。多分無理して買ったのだろう。

「あーら、じゃあお父さん幸せじゃない。珍種を女ながら言う。

「何言ってんのよ。」彼はため息をつきながら言う。

「だから悩んでいるんだよ。俺の生目標通り進んでいた。その中で「何言ってんのよ。結婚してくれってせまってきたのはお父さんの方じゃない」